

ダイバー・R.MTC 比較表

下記の比較表は、ダイバーとR.MTCの施工条件について比較しました。

項目 工種	条 件	ダイバー	R ・ M	備 考
準備工	機材搬入路について2t車以上			
	人孔の大きさ径60cm以上			
	タラップ、中間ステージあり			
	転落防護柵あり		×	
	排水場所人孔より50m以上			
清掃工	堆積の高さ20mm以上		×	
	堆積の質。細砂 フロック マンガン粘性土			
	堆積の質。錆こぶ コンクリートガラ 塗装の剥離片			注意)
	施工範囲 直線距離30m以上		×	
	施工範囲 ピット内の清掃			注意)
	施工範囲 急勾配のハンチ部			注意)
	施工範囲 流出,流入管等の周辺の清掃			注意)
	施工範囲 水中部連絡通路走行			×
	施工範囲 底部の凹凸2cm以上			×
	施工範囲 壁面清掃	×		×
	施工範囲 流出管などの錆の清掃			×
	施工範囲 クラックなどの点検			注意)
	施工範囲 天井の点検			注意)
報告書	写真管理			
	ビデオ管理	×		

(可能・○、不可能・×、状況による・)

注意) 堆積物等で、RMで除去できない物が部分的にある場合、ダイバーと併用し除去を行ないます。

ダイバー・R.MTC 比較表のまとめとして

上記のダイバー・R.M 比較表で、R.M では施工できない場所についてまだまだ多くありますが、施設の条件として下記の 3 点があげられます。

底部の凹凸が 2 c m以上ある場合

堆積物で石・コンクリート片・剥離片（径 1 c m 以上）の物が点在している場合

人孔から直線距離で 3 0 m以上ある施設では排水ホースの関係で清掃できません。

以上

ダイバー・R.M.T.C に対するの確認事項

現場等の確認を行なわれる際ご確認宜しくお願い致します。

	状 況	チエック項目
1 .	車両進入路状況	4 t 2 t ハイエース 軽 進入不可 能 (車両から施設まで m) 駐車場 (有. 無)
2 .	環境状況	エンジン類の騒音対策 (有, 無) 排水路内の詰り (有, 無) 排水処理の必要性 (有, 無) その他問題点
3 .	貯水槽状況	タンクの形式 (PC, 径 m) (RC, m × m) GL からの高さ (m) 貯水槽人孔の数 (径 c m) PC タンク天端の手摺 (有, 無) 流出管 (径 c m, 流出量 t/h) 水面から人孔天端までの高さ (m) 流入管 (径 c m, t/h) 施設図面 (有, 無) タラップ防護柵, 中間ステージ (有, 無) タラップ (使用可, 不可, 無し) 人孔のある建屋内の天井の高さ (m) 建設年数 (築 年) 過去清掃の実績 (S, H 年) 電源 100V (有, 無) 電源元から人孔までの距離 (m)
4 .	排水状況	人孔から排水場所までの距離 (m) 排水方法 側溝 排水ピットへ (直接, 間接) 排水ホースの道路横断の (有, 無)
5 .	貯水槽内部状況	堆積の量 (約 c m程度) (全体, 部分) 堆積の質 (砂, 泥, フロック, マンガン, 消石灰, コンクリート片, 塗装剥離片, その他) 堆積物の大きさ (MAX c m程度)
6 .	現場の状況写真	貯水施設, 機材搬入路, 人孔 (タラップ)